

場合および音声 分析のための VXML ゲートウェイからパケットキャプチャを得る方法

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[VXML ゲートウェイのパケットキャプチャを奪取して下さい](#)

[確認](#)

概要

この資料に場合および音声 分析のための VXML ゲートウェイからパケットキャプチャ (pcap) を得る方法を記述されています。

前提条件

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- Unified Customer Voice Portal (CVP)
- Voice Extensible Markup Language ゲートウェイ (VXML GW)
- Whireshark ツール

使用するコンポーネント

このドキュメントは、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。対象のネットワークが実稼働中である場合には、どのような作業についても、その潜在的な影響について確実に理解しておく必要があります。

VXML ゲートウェイのパケットキャプチャを奪取して下さい

インターフェイス g0/0 に関してはこのプロシージャと Cisco VXML GW からのシグナリングおよびメディアをチェックするために pcap を得ることができます。適切なものにコマンドの interface 名前を変更する必要があります。

```
conf t
ip traffic profile test mode capture
bidirectional
exit
```

```
int g0/0
ip traffic apply test size 20000000
end
```

```
traffic int g0/0 clear
traffic int g0/0 start
```

トラフィックをキャプチャする VXML ゲートウェイは従ってテスト コールをし、すぐにパケットキャプチャを停止します。

```
traffic int g0/0 stop
```

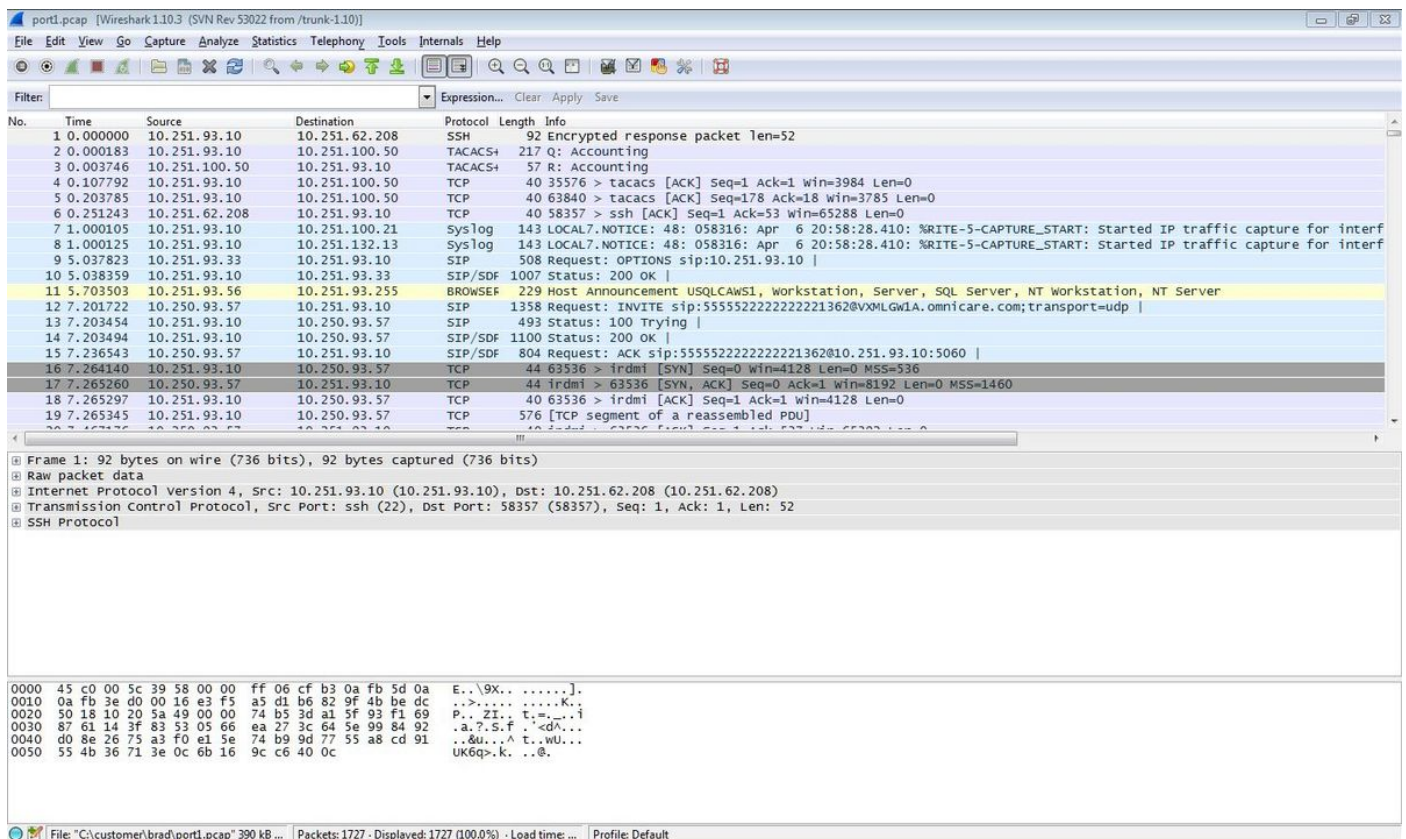
pcap を TFTPサーバにコピーするためにこのコマンドを入力して下さい。

```
traffic int g0/0 copy tftp://x.x.x.x/g00.pcap
```

pcap を FTP サーバにコピーするためにこのコマンドを入力して下さい。

```
traffic int g0/0 copy ftp://username:password@x.x.x.x/g00.pcap
```

スクリーン ショットは Wireshark ツールと開く pcap ファイル port1.pcap を表示します。

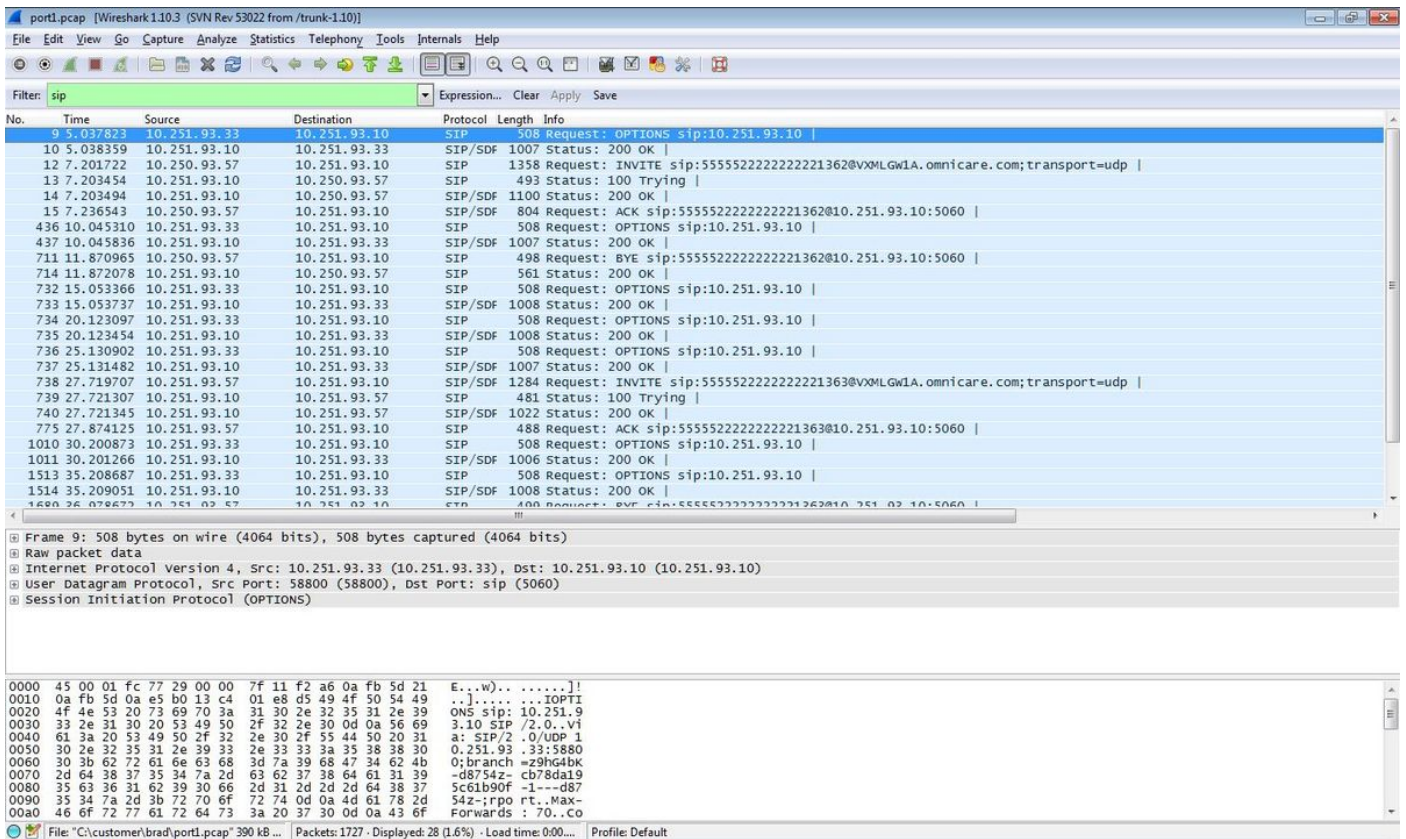


確認

パケットキャプチャが有効な使用このプロシージャであることを確認するため。

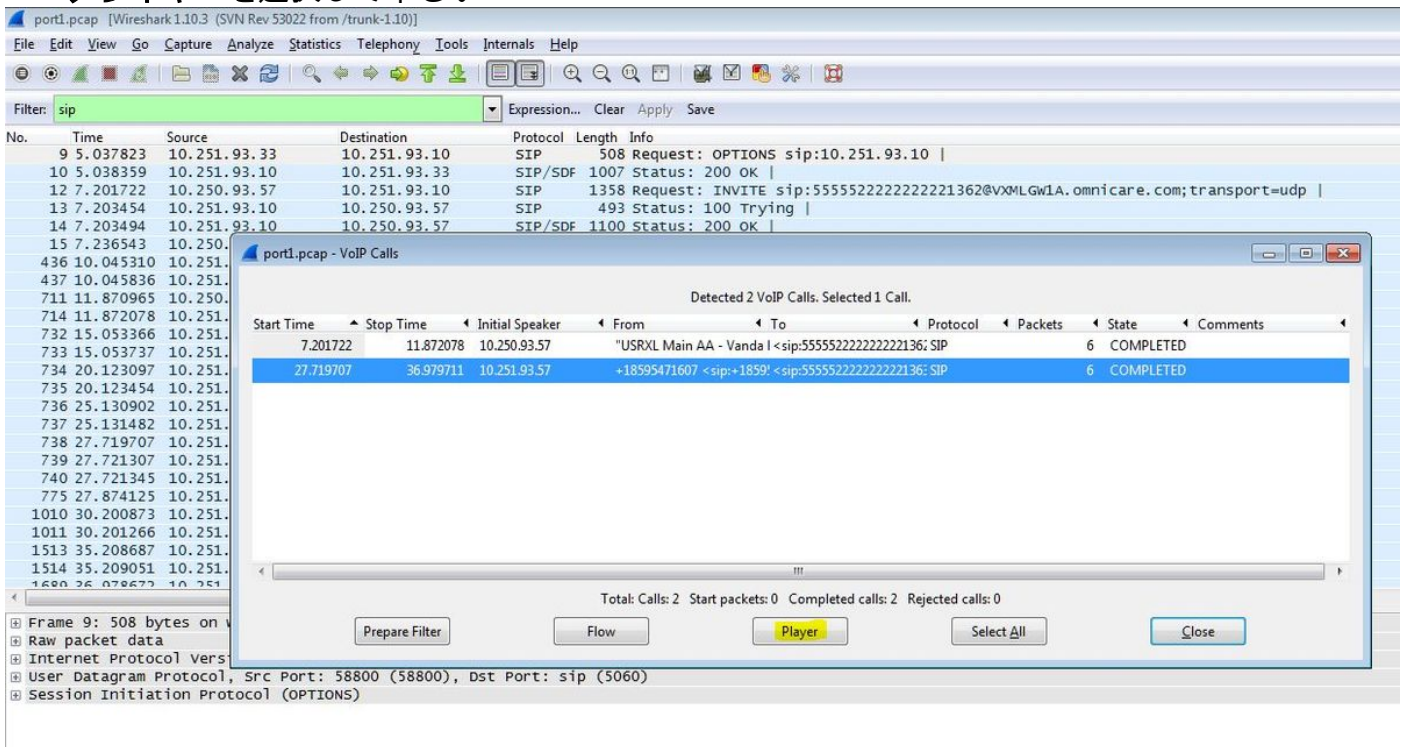
ステップ 1. フィルターロシグナリング。

フィルタ テキストボックスでローキードを入力して下さい。

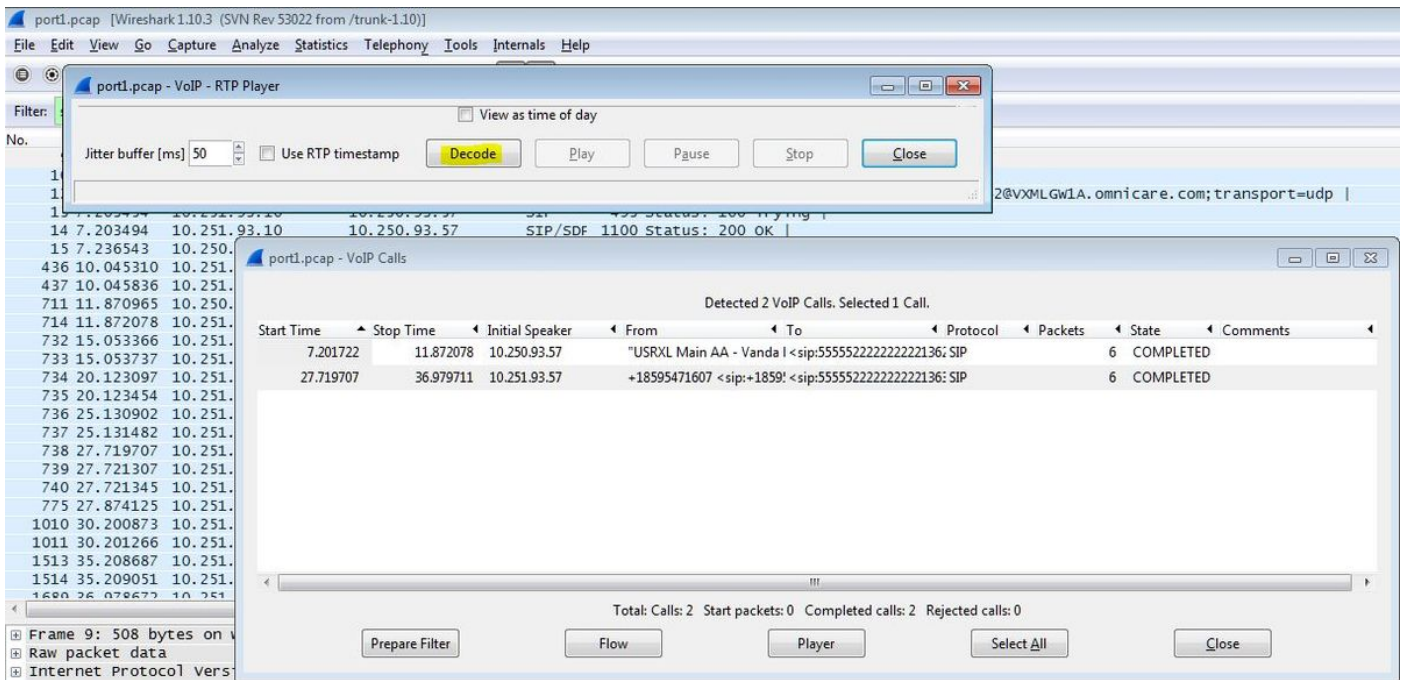


ステップ 2. Wireshark プレイヤーが付いている RTP ストリームを開いて下さい。

- テレフォニーへのナビゲート- VOIPコール
- 疑わしいコールを選択して下さい
- プレイヤーを選択して下さい

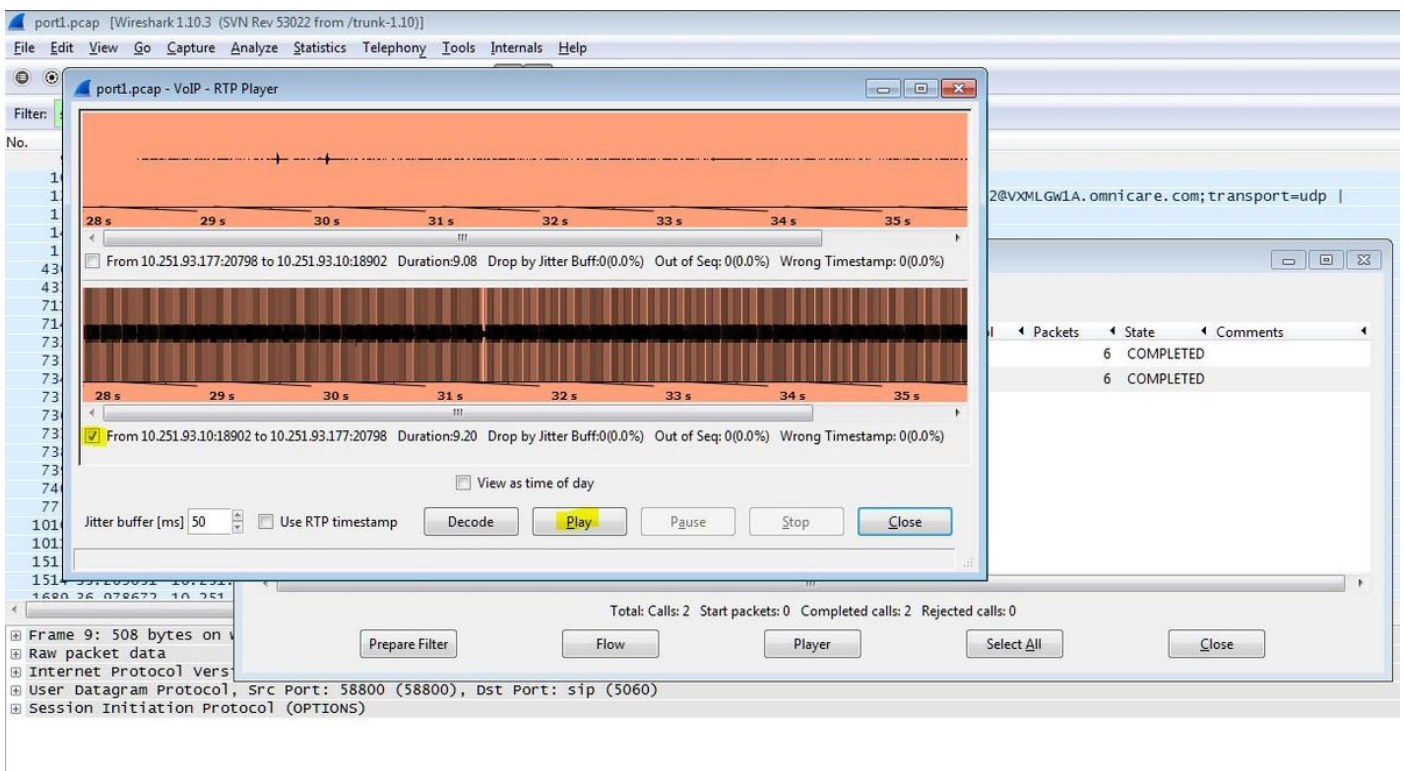


ステップ 3. デコードをクリックして下さい。



ステップ 4.再生記録。

再生は疑わしいコールに記録されたメッセージ交換デコードされたグラフを選択し、『play』を選択します。



記述されているプロシージャが音声の質、単方向音声または無音状態で問題を解決するのに使用することができます。

これらの debug コマンドは追加診断のための VXML ゲートウェイでタイプすることができます。

```
debug ccsip mess
debug ccsip error
debug voip ccapi inout
```

```
debug voip dialpeer inout
debug http client all
debug voip application script
debug voip application vxml
debug voip rtp session named-events
debug voip rtp sess nse
debug voip rtp
```